

松帆銅鐸と他地域の銅鐸

早いもので松帆銅鐸が発見されて、今年で10年が経ちました。

令和元年から開催しています当講座も6年目を迎え、銅鐸出土地も残り少なくなり、去年度から銅鐸使用圏の縁辺部の、古い銅鐸ではなく新しい銅鐸を多用した地域になっています。

淡路島はなぜ古い段階の銅鐸しかないのか？周辺地域との関係は？

他地域の銅鐸事情から、松帆銅鐸の謎に迫ってみませんか？

日	講師	場所
6月28日(土)	「鳥取の銅鐸と青銅祭器」 湯村 功氏(鳥取県立青谷かみじち史跡公園)	南あわじ市役所 第2別館 第5会議室 (2階)
8月2日(土)	「遠江の銅鐸が語るもの」 鈴木 一有氏(浜松市博物館)	
11月30日(日)	「分布縁辺部の北陸の青銅器事情」 赤澤 徳明氏(元福井県埋蔵文化財調査センター)	

時 間 午後1時30分～3時30分 受付 午後1時より

受講料等 各回100円 40名 事前申込制

申込方法 電話・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。

南あわじ市埋蔵文化財調査事務所

TEL 0799-42-3849 FAX 0799-42-3806

メール maizoubunkazai@city.minamiawaji.hyogo.jp

お名前・連絡先・希望日をお知らせください

※各回前々日の17時まで受け付けます



メール